

庭園間交流連携促進計画



アメイジングガーデンズ 浜名湖



2025年（令和7年）10月 構成庭園の変更

2023年（令和5年）10月 構成庭園の変更

2019年（令和元年）5月

浜名湖ガーデンツーリズム推進会議

取組の将来像（ビジョン）

アメイジングガーデン・浜名湖とは

浜名湖及び静岡県西部地域の花の公園や日本庭園等を通じて、お客様に“感動”を提供するガーデンツーリズムであり、花の公園や日本庭園に加え、浜名湖及び静岡県西部地域の食・グルメ、温泉、サイクリング等のアクティビティなどを組み合わせて展開していく滞在型の観光地域づくりです。

全国屈指の花の産地である浜松・浜名湖地域は、四季折々、彩り豊かな花の公園等が多数立地するとともに、2004年（平成16年）の浜名湖花博を皮切りに数々の“花”にまつわるイベント等を開催し、これまで多くのお客様に“感動”を提供してきました。

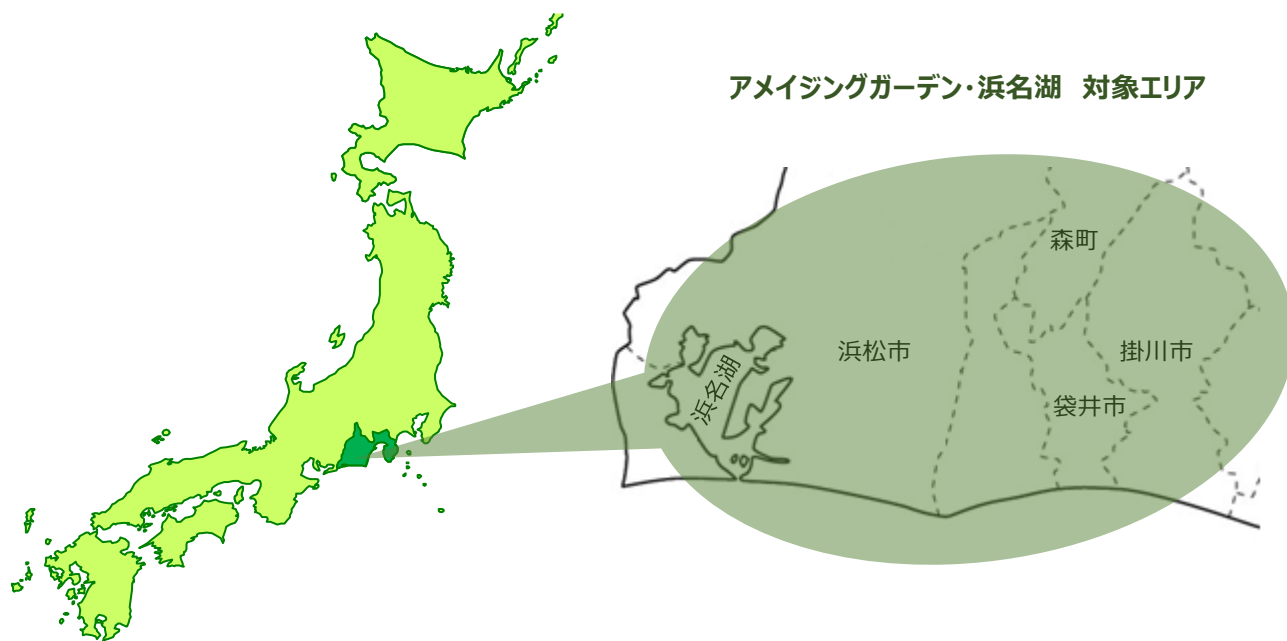
そこで、“日本の春は浜名湖から”をテーマとした既存のイベントである「浜名湖花フェスタ」をベースに、静岡県西部地域まで圏域を広げ、春だけではない四季を通じた質の高い通年・広域観光として、“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”をテーマとしたガーデンツーリズムを展開していきます。

また、浜名湖及び静岡県西部地域は、日本のほぼ中心に位置し、首都圏や関西圏からもアクセスのよい地域であることに加え、食・グルメ、温泉、サイクリングなどの豊富な観光資源があります。これらの恵まれた観光資源と、“感動”を提供する花の公園や日本庭園を組み合わせ、五感で四季の移ろいを感じながら、自分好みの楽しみ方をカスタマイズできる、滞在型の観光地域づくりを進めていきます。

そして、“感動”を提供する質の高いガーデンツーリズムを通じて、国内外からの誘客を拡大するとともに、地域内に存在する花の公園及び日本庭園の質の向上と、来訪者の満足度向上やリピーターの獲得につなげ、浜名湖及び静岡県西部地域が、国内の方々には“日本の花と庭園観光の中心地”、海外の方々には“Heartland of Flowers and Gardens Tourism in Japan”として認められることを目指します。



取組全体の範囲がわかる位置図（地図等）



構成庭園の位置図（地図等）



計画のテーマ

テーマは“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”

(1)園芸が盛んな浜名湖周辺地域

浜松・浜名湖地域は、日本一の生産量を誇るガーベラをはじめ、菊やフリージア、こでまり、トルコギキョウ、スイートピーなど多種多様な花を栽培する全国屈指の花の生産地です。特に浜名湖周辺地域は気候が温暖で、豊かな自然環境に恵まれ日照量も多いことから、年間を通じて至るところに花々が咲き誇り、花や草木などの花卉栽培が盛んで、花の名所や日本庭園、園芸・造園産業も集積しています。



ガーベラ



菊



フリージア

1970年（昭和45年）には浜松市制60周年を記念して、当時、全国的にも稀である大規模な花と緑の公園として「はままつラパーク」を開設し、花卉園芸の振興と観光誘客に取り組んできました。

また、1460余年の悠久の歴史を有する小國神社（森町）では、春には桜、初夏には新緑が眩しく輝き、花菖蒲やシャクナゲが咲き揃うとともに、秋にはもみじが川沿いを中心に辺りを錦に染めます。

(2)由緒ある日本庭園と浜松・浜名湖地域

一方、浜名湖の北側に位置する万松山龍潭寺（浜松市）は、庭の寺と言われ、禅僧が造園を学ぶ園頭科えんずかが設置された弘徳山龍潭寺（彦根市）の本寺であり、駿府城の作事奉行を務めていた小堀遠州が彦根井伊家2代井伊直孝の命により作った庭園を持ちます。この庭園は、1936年（昭和11年）に国の名勝に指定されており、さつきや満天星とうたん、池や石組などを配した庭園は春夏秋冬に表情を変えて日本の美の伝統を今に伝えています。

また、浜松市は、江戸時代中期から全国展開していた「遠州苗木」の産地であり、植木・盆栽等を作る庭師・手入師の技術育成が行われてきました。現在も、マキ・松の大物庭園木や四季に応じた花が咲く花木など、様々な高品質の植木が栽培されています。

1977年（昭和52年）には、浜松市の中心部に位置する浜松城公園に、浜松城の景観にふさわしい池泉回遊式庭園が整備されました。徳川園などを手掛けた伊藤邦衛氏の設計によって、天竜川の流れをイメージした滝や池が造られています。

さらに、1997年（平成9年）には、浜松城公園の一角に、ニューヨーク近代美術館の新館も手掛けた建築家谷口吉生氏の設計による茶室「松韻亭」と日本庭園が完成。茶室から臨むことができる庭園では初夏の新緑や秋の紅葉など四季折々の変化を楽しむことができ、市民や外国人観光客にも親しまれています。

(3) フラワー・ガーデンツーリズムの先進地

花卉栽培や造園技術が脈々と受け継がれている当地域では、花にまつわるイベントが官民連携により多数行われており、多くの方に“感動”を与えてきました（表 1 参照）。

2004 年（平成 16 年）には、日本で 3 回目、中部地方では初開催となる「浜名湖花博（しずおか国際園芸博覧会・第 21 回全国都市緑化しずおかフェア）」を開催しました。秋篠宮文仁親王が名誉総裁を務められた花と緑の博覧会には、6,000 品種・500 万株もの草花が半年間の会期中、国内外からのおよそ 544 万人もの来場者をもてなしました。花博終了後には会場が再整備され、翌年 6 月より浜名湖ガーデンパークとして開園しています。



入園者 200 万人達成記念セレモニー



浜名湖花博の場内
(現浜名湖ガーデンパーク)

2009 年（平成 21 年）には、はままつフラワーパークをメイン会場として、世界で 4 番目、日本では初めてとなるモザイクカルチャー※の世界大会「浜名湖立体花博（浜松モザイクカルチャー世界博 2009）」を開催しました。世界 25 か国・地域、97 都市から 91 のモザイクカルチャー作品が出展され、66 日間の会期中、国内外からおよそ 86 万人の観光客の方々にご来場いただきました。

※絵画や彫刻などの芸術と、造園や園芸などの技術が融合した花と緑の像景アートをいう。



浜松市作品「ほほえみのハーモニー」



浜名湖立体花博オープニングセレモニー

2013 年（平成 25 年）には、日本初の女性樹木医であり、あしかがフラワーパークを国内屈指の花の名所に育て上げた塚本こなみ氏が、はままつフラワーパークの理事長に就任しました。「世界一美しい」と評されるはままつフラワーパークの「桜とチューリップの庭園」や壮大なフジの庭園などの整備とともに、植物との触れ合いによる「花育」や「園芸福祉」などの先駆的な取り組みを地域一体となって行っています。

2014 年（平成 26 年）には、浜名湖花博 10 周年記念事業及び第 31 回全国都市緑化しずおかフェアとして、はままつフラワーパーク及び浜名湖ガーデンパークにおいて「浜名湖花博 2014」を開催しました。

その翌年からは、これらの成果を継続するため、官民 32 団体（令和 5 年 5 月現在）で構成する浜名湖観光圏の事業として受け継ぎ、毎年 3 月下旬から 6 月中旬にかけて「浜名湖花フェスタ」を開催しています。



浜名湖花博 2014 開会式

この浜名湖花フェスタでは、はままつフラワーパーク及び浜名湖ガーデンパークを含む、浜名湖地域の花の名所 17 か所を「花のリレー」としてつなぎ、地域内での周遊と滞在の促進を図っており、主要施設には毎年 100 万人を超える来場者が訪れています。梅に始まり、はままつフラワーパークの「桜とチューリップの庭園」やフジの庭園のほか、浜名湖ガーデンパークのネモフィラやバラなど、彩り豊かな花々で来訪者を楽しませています。

【表 1：浜名湖地域における花のイベント】

| 開催年 | イベント名 | 開催地 | 期間 | 来場者数 |
|------|--|--|---|--------|
| 2004 | 浜名湖花博 (国際園芸博覧会・ 第21回全国都市緑化しずおかフェア) | 浜名湖ガーデンパーク | 4月8日 ～10月11日(187日間) | 約544万人 |
| 2009 | 浜名湖立体花博 (浜松モザイクカルチャー世界博2009) | メイン会場： はままつフラワーパーク | 9月19日 ～11月23日(66日間) | 約86万人 |
| 2014 | 浜名湖花博2014 (第31回全国都市緑化しずおかフェア) | 浜名湖ガーデンパーク はままつフラワーパーク | 4月5日 ～6月15日(72日間) 3月21日 ～6月15日(87日間) | 約165万人 |
| 2015 | 浜名湖花フェスタ | 浜松・湖西市内15か所 メイン会場： 浜名湖ガーデンパーク はままつフラワーパーク | 3月21日～6月15日 | 約106万人 |
| 2016 | | | 3月19日～6月12日 | 約107万人 |
| 2017 | | | 3月18日～6月11日 | 約113万人 |
| 2018 | | | 3月21日～6月10日 | 約103万人 |
| 2019 | | | 3月21日～6月30日 | 約116万人 |
| 2024 | 浜名湖花博2024 (浜名湖花博20周年記念事業) | 浜名湖ガーデンパーク はままつフラワーパーク | 4月6日 ～6月2日(58日間) 3月23日 ～6月16日(86日間) | — |

さらに、2018年（平成30年）には、駅舎など36件が国の登録有形文化財に指定されている天竜浜名湖鉄道（浜名湖の西岸と北岸を通り、掛川市と森町、磐田市、浜松市を経て湖西市を結ぶ全長67.7km）において、沿線を花でつなぐ「**天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト**」をスタートさせました。



天竜二俣駅に整備された庭園

このプロジェクトは地元金融機関が地域貢献の一環として発案したもので、前述の塚本氏と英国園芸研究家として有名な吉谷桂子氏がプロデュースしています。鉄道沿線には、桜、アジサイ、ハクモクレン、ラッパ水仙などが植えられ、ローカル線の車窓から「花のある日本の原風景」が臨めるだけでなく、天竜二俣駅前には庭園が整備され、鉄道に乗る人も乗らない人も楽しめる花の風景を作り出しています。

このように、浜名湖及び静岡県西部地域は、フラワー・ガーデンツーリズムの先進地として、官民が一体となってさらなるレベルアップを目指しています。

(4)新たな展開＝「アメイジングガーデン・浜名湖」

当地域は、こうした歴史的背景や蓄積する園芸技術・文化などの地域特性を生かし、これまでの取り組みを強化し発展させる形で、「アメイジングガーデン・浜名湖」と題したガーデンツーリズムを新たに展開していきます。

“日本の春は浜名湖から”をテーマとした「浜名湖花フェスタ」をベースに、静岡県西部地域まで圏域を広げ、春だけではない四季を通じた質の高い通年・広域観光を圏域の官民が一体となって展開していきます。

テーマは、“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”。

「アメイジングガーデン・浜名湖」では、当地域の自然環境や園芸職人などの“強い思い”、“こだわり”、“高い技術”による以下の地域独自のバラエティに富んだ四季折々の花や庭園を通じて、“きれい”、“美しい”など、直感としてお客様の心に響き、脳にインプットされる“感動”を提供していきます。

- ☆ 春は、世界一美しいと評される桜とチューリップの庭園、フジ栽培の第一人者が手掛けるフジ棚、花の美術館（旧モネの庭）に続くバラによる大アーチ、3,000 m²の広大な花畑に広がるネモフィラ、江戸時代初期に造られた寺院庭園のさつき、日本初の 4-5 月咲きの花菖蒲、散策路を彩る風光明媚なシャクナゲ、花で飾られた天竜浜名湖鉄道
- ☆ 初夏は、新たに育成され「浜名湖の光」と名付けられた黄色い花菖蒲、透き通った花の色が美しいハス、迷路になる 4 万本のひまわり、園内のサイクリングロードを彩るハマボウ、綺麗かつ丈夫で個性的なアジサイ、新緑で彩られる日本庭園
- ☆ 秋は、3,000 m²の広大な花畑に広がるコスモス、紅色が印象的な秋バラ、日本庭園に広がる色づき鮮やかな紅葉、深紅色が鮮やかな満点星（どうだん）、一般的なものよりもはるかに大輪で手毬のようなダイヤモンドリリー、錦織なす宮川沿いの紅葉
- ☆ 晩冬は、春の訪れを感じさせる福寿草の花や八重咲きのニホンズイセン、110 種約 300 本の梅、青い色素をもつ貴重な品種のシクラメン

(5) “感動”をお届けするための「約束」

当地域では、お客様“感動”をお届けするため、以下の 3 つを約束します。

① 継続的に構成庭園の磨き上げを行います

構成庭園の質の向上に向け、各構成庭園の自助努力に加え、推進組織が開催する園芸技術等の専門家を招いた勉強会や OJT などを通じて「感動を与える庭園づくり」を進めていきます。

② 庭園と地域住民との連携を行います

各構成庭園の連携によるガーデンツーリズムの取り組みだけでなく、地域住民が自ら家庭でも美しい花を育てる意識の向上や喚起を図り、地域一体となった「感動を提供する仕組み」を構築していきます。

③ 地域経済の活性化に寄与します

地域と官民が一体となった取り組みを通じて、地域資源（温泉、アクティビティ、食、歴史、文化）の活用を高め、浜名湖及び静岡県西部地域の観光振興並びに地域経済の活性化を実現します。また、取り組みによって生まれた各構成庭園の技術や収益は、より高い感動を提供するために活用し、さらなる発展につなげていきます。

構成庭園一覧表

1. はままつフラワーパーク
2. はまなこ 浜名湖ガーデンパーク
3. りょうたんじ 龍潭寺
4. はままつじょうこうえん 浜松城公園・しやういんてい 松韻亭
5. てんはません 天浜線 はな 花のリレー・プロジェクト
6. かつらぎきたまる 葛城北の丸
7. とどうみのくにいちのみや 遠江國一宮 おくにじんじゃ 小國神社

【構成庭園に関する選定基準】

- ① 浜名湖または静岡県西部地域における固有の地域資源を活かした、他の庭園には無い“感動”を与える特別な魅力があること
- ② 説明対応のできるスタッフ等の受入体制が整備されていること
- ③ 多言語案内看板やパンフレット等の外国人旅行者の受入体制が整備されていること。または、今後、外国人旅行者の受入体制を整備する見込みがあること
- ④ 他の構成庭園や地域と連携し、ガーデンツーリズムを盛り上げていく情熱を有していること

上記の項目について総合的に判断し、構成庭園を選定

構成庭園一覧表

| ふりがな 構成庭園 の名称 | ①はままつ ^{ふらわーぼーく} フラワーパーク | 構成庭園の 所在地 | 浜松市西区舘山寺町 195 |
|---------------------|--|--------------|---------------|
| 1 構成庭園 の概要 | <p>浜松市制 60 周年を記念して開園した植物園。 初春には梅や世界一美しいと評される桜とチューリップ、フジ、初夏にはアジサイやバラ、秋にはヒガンバナやアメジストセージ、冬にはポインセチアなど、四季折々に約 3,000 種類もの世界の花々が咲き誇るテーマパーク。</p>  <p style="text-align: right;">世界一美しい「桜とチューリップの庭園」</p> <p>【概要】 開園面積 30ha 入園料金 料金変動制（無料～1,200 円） 公開時期 通年 ※休園：12 月 29 日～31 日 施設管理者 （公財）浜松市花みどり振興財団：浜松市の指定管理</p> <p>【イベント】 <u>例年</u> ライトアップ 桜及びフジの開花時期 浜名湖花フェスタ 3 月下旬～6 月上中旬 イルミネーション 11 月下旬～1 月上旬</p> <p><u>2024 年</u> 浜名湖花博 2024 3 月 23 日～6 月 16 日</p> | | |

1

計画のテーマでの位置づけ



長さ 170 メートルに渡るフジ棚



アジサイ並木と園内を周遊する
フラワートレイン



5月中旬から6月上旬にかけて
見頃を迎えるローズガーデン

☞“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”における感動ポイント

“日本の春は浜名湖から”をキャッチコピーに行われる浜名湖花フェスタのメイン会場として、2月中旬には紅梅や白梅を中心としたおよそ 110 種類の梅の花が咲き誇るほか、3月下旬の「桜とチューリップの庭園」と4月下旬のフジ棚は塚本こなみ**理事長**イチオシであり、圧巻の美しさを誇ります。

また、ガーデンデザイナー吉谷桂子氏が手掛けたスマイルガーデン、大温室「クリスタルパレス」などでも四季折々の花のリレーを堪能でき、一年を通じて感動が味わえます。

さらに、花菖蒲の「浜名湖の光」やサクラの「ヒナサクラ」「カンザンジサクラ」はこの施設で生まれたもので、こちらも見ものを楽しませてくれます。



花の美術館へと続くバラのアーチ



花の美術館



高さ 50mの展望塔

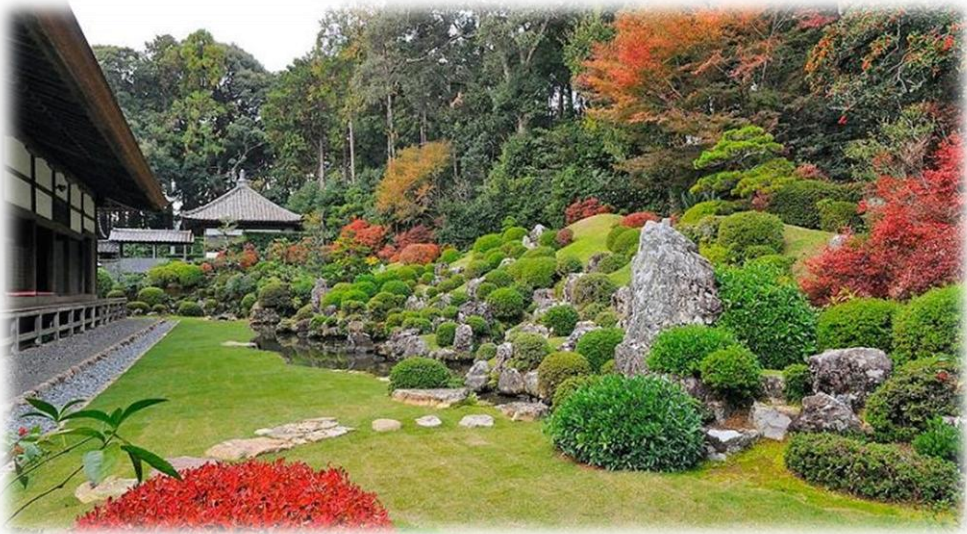
☞“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”における感動ポイント

浜名湖畔の美しい自然景観の中で湖の風を感じながら、バラの大アーチの奥に広がるモネの庭を模した「花の美術館」をはじめ、アジアや欧州などの伝統的な庭園を再現した国際庭園を楽しむことができます。

また、高さ 50m の展望塔は、浜名湖や遠州灘、富士山が一望できるビュースポットであり、春には一面に咲き誇るネモフィラ、夏にはひまわり、秋にはコスモス、冬にはシクラメンなど、ガーデンパーク内に咲き誇る花々と絶景で感動を味わうことができます。

さらに、園内にはサイクリングロードも設けられ、湖畔のさわやかな光と風、そして花々に囲まれて、快適なポタリング（散走）を楽しむことができます。

構成庭園一覧表

| ふりがな 構成庭園 の名称 | ③龍潭寺 <small>りょうたんじ</small> | 構成庭園の 所在地 | 浜松市北区引佐町井伊谷 1989 |
|---------------------|---|--------------|------------------|
| 3 構成庭園 の概要 | <p>1300年にわたる奥浜名湖地方の歴史と文化と信仰を今日に伝える遠州の古刹。次郎法師、井伊直虎ゆかりの寺。</p> <p>境内には江戸時代に建立された県指定文化財の本堂、開山堂、総門、庫裏、御霊屋などの貴重な建物が立ち並び、小堀遠州作の庭園が四季折々の風光と調和しながら、悠久たる「井の国」の歴史と文化と信仰を今日に伝えています。</p> | | |
| | <p style="text-align: right;">秋色を装った庭園</p>  <p>【概要】 開園面積 0.12ha 入園料金 大人 500 円 / 小中学生 200 円 公開時期 通年 ※休観日：8月15日、12月22日～27日 施設管理者 龍潭寺（民間）</p> <p>【イベント】 例年 花まつり 4月上旬 新緑・さつき祭 4月下旬～5月 紅葉まつり 11月上旬～12月上旬 ※11月中下旬に紅葉ライトアップを実施</p> | | |



庭園では、春にはさつき、
秋には満天星(どうだん)
などが楽しめる




あじさいと仁王門

☞“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”における感動ポイント

小堀遠州作の池泉鑑賞式庭園は、さつき、満天星など四季折々の花や緑の色彩の変化に富み、庭園の造形美と併せ、見るものに感動を与えます。秋には境内のカエデやモミジが見頃を迎え、美しい景観が訪れる人の目を楽しませるほか、秘宝の特別展示なども行われ、1,000年以上にわたる井伊家の歴史を感じることができます。

また、1936年（昭和11年）に国から名勝に指定されており、名園の名にふさわしい景観が職人の手により維持されています。

構成庭園一覧表

| ふりがな 構成庭園 の名称 | ④ <small>はままつじょうこうえん しゅういんてい</small> 浜松城公園・松韻亭 | 構成庭園の 所在地 | 浜松城公園：浜松市中区元城町 100-2 松韻亭：浜松市中区鹿谷町 11-4 |
|---------------------|--|--------------|---|
| 4 構成庭園 の概要 | <p><u>浜松城公園</u> 市の中心部に位置する、緑豊かな浜松市のセントラルパーク。 青壮年期の徳川家康が17年間過ごした浜松城を中心に、日本庭園や中央芝生広場など、市民の憩いの場として親しまれています。浜松随一の桜の名所として、春には多くの花見客で賑わいます。</p> <p><u>松 韻 亭</u> 浜松城公園の一角に開席された本格的な茶室。 主庭日本庭園には小滝と岩間にせせらぎを聞く「流れ」が作られています。離れ棟の萩庵に通ずる露地には腰掛待合が設けられ、蹲、灯籠、飛石が配置された空間で茶事の心に触れることができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="424 801 1126 1178">  </div> <div data-bbox="1174 835 1299 864" data-label="Caption">浜松城公園</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="608 1491 683 1520" data-label="Caption">松韻亭</div> <div data-bbox="730 1200 1426 1576">  </div> </div> <p>【概要】 開園面積 10.1ha 入園料金 浜松城公園：無料／松韻亭：呈茶サービス 500円 公開時期 通年 ※松韻亭の休館日：月曜日（祝日開館）、12月29日～1月3日 施設管理者 遠鉄アシスト(株)：浜松市の指定管理</p> <p>【イベント】 <u>例年</u> さくらまつり、夜桜ライトアップ 3月下旬～4月上旬</p> | | |

4

計画のテーマでの位置づけ



浜松城と桜



美しい紅葉が彩る日本庭園

👉“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”における感動ポイント

浜松城公園には、ソメイヨシノを中心にしだれ桜、山桜、大島桜など約340本が植栽されています。春に咲く浜松城天守閣周辺の桜は特に見事です。園内の池泉回遊式日本庭園では、桜に続き、新緑、紅葉など季節の変化を楽しむことができます。

また、杉、栗などの銘木を使用した茶室「松韻亭」では、四季折々の庭園の風景と共に抹茶や煎茶を楽しむことができ、五感で感動を味わうことができます。

構成庭園一覧表

| ふりがな 構成庭園 の名称 | ⑤天浜線 花のりレー・プロジェクト | 構成庭園の 所在地 | 浜松市天竜区二俣町阿蔵 114-2 他 |
|---------------------|--|--------------|---------------------|
| 5 構成庭園 の概要 | <p>過疎化が進む静岡県西部の中山間地域の地域振興を図るために、この地域に愛着を感じ、住み続けられる魅力ある花のまちづくりを進めています。</p> <p>総延長 67.7 km の天竜浜名湖鉄道（通称：天浜線）の駅や沿線 18 か所に植えた花木が、季節ごとに彩りを変化させ、訪れた人に楽しんでもらえるよう思いを込めて植栽しました。</p> <p>植栽は、総合プロデューサーとして日本初の女性樹木医 塚本こなみ先生にご指導いただき、維持管理は地域の企業、学校、花の会などがボランティアで行っています。</p> <div data-bbox="555 846 1289 1328" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">天竜二俣駅ペレニアル・ガーデンの風景</p> <p>【概要】</p> <p>開園面積 5 5 8 4 . 8 8 m²</p> <p>入園料金 無料</p> <p>公開時期 通年</p> <p>施設管理者 天竜浜名湖鉄道株式会社</p> <p>【イベント】</p> <p>見頃 2月下旬～6月下旬</p> | | |



春の常葉大学前駅ではヤマブキが一面を彩る



寸座駅とアナベル



春の金指駅では色とりどりの花々が楽しめる


☞“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”における感動ポイント

天竜浜名湖鉄道には、全国的にも貴重な転車台、扇形車庫、駅舎など重要文化財が多数現存しており、訪れた人をノスタルジックな雰囲気でもみこむでしょう。

花のルー・プロジェクトにおいては、日本の原風景を大切にし、季節感豊かな風景となるように演出しました。

早春のユキヤナギ、春の桜とスイセン、菜の花、ポピー、梅雨時期のアジサイなど季節ごと彩りを変える花木と鉄道沿線から眺める風景との調和を楽しむことができます。

当プロジェクトのシンボルである「天竜二俣駅 ペレニアルガーデン」は、英国園芸研究家 吉谷桂子先生のデザインで、宿根草を中心に、季節の花々が咲き誇ります。

| | | | |
|---------------------|---|--------------|---------------------|
| ふりがな 構成庭園 の名称 | かつら ぎきた まる ⑥葛城北の丸 | 構成庭園の 所在地 | 袋井市宇刈 2 5 0 5 番地の 2 |
| 7 構成庭園 の概要 | <p>1978 年開業。名称は古くからの産物である「葛」と城跡に由来し、遠州の風土と文化を受け継ぐ宿泊施設です。建築家・一ノ宮賢治氏の設計により、古民家を移築し遠州瓦を葺いた力強くも優美な家屋と庭園が一体となり、日本の伝統美と匠の技を感じさせます。</p> <p style="text-align: right;">郭松門と桜</p>  <p>【概要】 開園面積 約 140ha 入園料金 入園はレストランまたは宿泊利用者のみとなります 公開時期 通年 施設管理者 株式会社ヤマハリゾート（民間）</p> <p>【イベント】 見頃 3月～6月 つつじ園、桜、フジ など</p> | | |



レストランや客室から
四季を通じて
庭園の景色を眺められる



庭園奥には散策路が整備され、
花木を愛でることができる


☞“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”における感動ポイント

敷地内には池泉回遊式庭園が整備され、クロマツや大楠の古木に加え、四季折々の花木が景観を彩ります。春の萌黄、夏の新緑、秋の紅葉、冬の清閑と、移ろう季節ごとの変化が見どころです。夕暮れ時には屋根と緑が夕闇に溶け込み、趣のある光景を呈します。

庭園の奥には自然林を活かした散策路があり、鉄製の吊り橋「ムササビ橋」を渡ると、ケヤキやツツジ、桜、ウメなどの花木苑が続き、自然に包まれるひとときを味わえます。

葛城北の丸は、訪れる人を静謐で格調高い空間へと誘います。

構成庭園一覧表

| ふりがな 構成庭園 の名称 | ⑦遠江國一宮 小國神社 | 構成庭園の 所在地 | 周智郡森町一宮 3956-1 | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|--------------|----------------|------|-----------------|------|----|------|----|-------|----------|----------|----------|----------|-----------|-------|
| 5 構成庭園 の概要 | <p>1460 余年の悠久の歴史を有し、人々の様々なご縁を結ぶ神社 社には大己貴命（おこなむちのみこと）が祀られており、約 30 万坪に及ぶご神域は、『斎庭』（ゆにわ/神々を祀るために祓い清められた所）とも呼ばれ、杉や桧の巨木が立ち並びます。</p> <p>一年を通じて咲き揃う花々や神々が運ぶ自然の移ろいが、訪れる人々の心を癒やし、今も昔も変わらず、『神々が住まう美しい祈りの庭』として、多くの参拝者が訪れています。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| |  <p style="text-align: right;">杉や桧の巨木が立ち並ぶ斎庭（ゆにわ）</p> <p>【概要】</p> <table border="0"> <tr> <td>開園面積</td> <td>約 99ha（境内地・社有地）</td> </tr> <tr> <td>入園料金</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>公開時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>施設管理者</td> <td>小國神社（民間）</td> </tr> </table> <p>【イベント】</p> <p><u>例年</u></p> <table border="0"> <tr> <td>一宮さくらまつり</td> <td>4月の第一日曜日</td> </tr> <tr> <td>一宮花菖蒲まつり</td> <td>5月中旬～6月中旬</td> </tr> <tr> <td>もじまつり</td> <td>11月の最終日曜日</td> </tr> </table> | | | 開園面積 | 約 99ha（境内地・社有地） | 入園料金 | 無料 | 公開時期 | 通年 | 施設管理者 | 小國神社（民間） | 一宮さくらまつり | 4月の第一日曜日 | 一宮花菖蒲まつり | 5月中旬～6月中旬 | もじまつり |
| 開園面積 | 約 99ha（境内地・社有地） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入園料金 | 無料 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公開時期 | 通年 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設管理者 | 小國神社（民間） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一宮さくらまつり | 4月の第一日曜日 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一宮花菖蒲まつり | 5月中旬～6月中旬 | | | | | | | | | | | | | | | |
| もじまつり | 11月の最終日曜日 | | | | | | | | | | | | | | | |



太陽の光に輝くもみじ



宮川沿いの赤橋と紅葉



神職と地域の奉仕者により育てられてきた花菖蒲



春の訪れを告げるシャクナゲ

☞“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”における感動ポイント

春には桜、初夏には新緑が眩しく輝き、花菖蒲やシャクナゲが咲き競います。秋には、ご神域を南北に流れる宮川沿いのもみじが一斉に色づき、辺りを錦に染めます。その光景は圧巻です。夜にはライトアップが行われ、幻想的な雰囲気漂い、気候のよい早朝には、紅葉に朝日が差し込み、まるで映画のワンシーンのようなフォトジェニックスポットに変身します。

その他計画の実施にあたって必要な事項

浜名湖花フェスタの花の名所（アメイジングガーデン・浜名湖の構成庭園を除く）※様式 1-8 の図参照

| 地域 | 花の名所 | 花の種類ほか |
|-----|--------------------|---------------------|
| 浜松市 | 大草山 | 昇竜しだれ梅 |
| | 長楽寺 | 梅のトンネル、小堀遠州作の日本庭園 |
| | はままつフルーツパークときのみすみか | 約 400 本のフルーツアーモンド |
| | 細江町都田川堤防 | 川の両岸を彩る桜 |
| | 奥山公園 | 1,000 本の桜 |
| | カナメ神宮 | 源平しだれ桃 |
| | 渋川つつじ公園 | 約 4,000 本の渋川つつじ |
| 湖西市 | 神座（かんざ） | トキワマンサク（静岡県指定天然記念物） |
| | 正太寺（しょうたいじ） | 600 株のみやまつつじ |
| | 本興寺 | 境内に数百本の桜が咲き乱れる |

浜名湖花フェスタの主な関連施設（アメイジングガーデン・浜名湖の構成庭園を除く）

| 分類 | 施設名 | | |
|-------------|----------------|---------------------|--------------------|
| ホテル・旅館 等 | ホテルウエルシーズン浜名湖 | 嵐の館 | 時わすれ開華亭 |
| | 鞠水亭（きくすいてい） | 浜名湖パークビレッジ | ペロはまなこ |
| | ホテルルートイン浜名湖 | | |
| 観光施設 等 | 竜ヶ岩洞 | 浜名湖遊覧船 | 浜名湖ガーデンパーク展望塔 |
| | 龍潭寺 | 浜松市動物園 | 浜名湖体験学習施設 ウォット |
| | 今切体験の里「海湖館」 | 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー | ルーベラ |
| | 華咲の湯 | 浜名湖パルパル「ばくばく大食堂」 | かんざんじロープウェイ |
| | 浜名湖オルゴールミュージアム | ぬくもりの森 | 天竜浜名湖鉄道 天竜二俣駅 |
| | はままつフラワーパーク | 浜松市楽器博物館 | 浜松城天守閣・天守門 |
| | 浜名湖マリーナ遊覧船のりば | 新居関所資料館 | ボートレース浜名湖 |
| | はまなこサイクル | | |
| 飲食施設 | 浜寿司 | うなぎ食事処 浜乃木 | 川辺の食卓 都田の豆腐「勘四郎」 |
| | 浜名湖料理 はませい | うなぎ専門の店 志ぶき | ライダーズカフェ はまなこ |
| | 和食 つぐ味 | ラーメン・餃子・チャーハン「とんとん」 | café&kitchen きんたろう |
| | ひので軒 | THE MARINA | すし会席 鮮太 |
| | 静岡やすま園 | | |

実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組

■ 浜名湖花フェスタ

“日本の春は浜名湖から”をテーマに 2015 年（平成 27 年）から開催している「浜名湖花フェスタ」には、はままつフラワーパークや浜名湖ガーデンパークなど、環浜名湖エリアの花に関わる 15 施設が参加し、“梅から始まる花のリレー”を通じてお客様に“感動”を提供しています。

「浜名湖花フェスタ」には、期間中、台湾を中心とした訪日外国人旅行者も含め、主要施設で毎年約 100 万人が来場しています。

なお、「浜名湖花フェスタ」では、3 月から 6 月の期間において、以下の花のリレーを展開しています。



花のリレー以外にも、旅館や飲食店など周辺 42 施設の「おもてなしクーポン」や、花の施設の「スタンプラリー」、Instagramによる「フォトコンテスト」などを実施しています。

訪日外国人旅行者の誘客に向けては、台湾やタイ等での PR や英語及び中国語（繁体字）での現地メディアへの PR を行っています。

(2) 今後の取組

■ アメイジングガーデン・浜名湖

これまで取り組んできた「浜名湖花フェスタ」をベースに、春だけではない四季を通じた質の高い通年・広域観光として、“浜名湖からはじまる感動四季めぐり”をテーマに、「アメイジングガーデン・浜名湖」と題したガーデンツーリズムを新たに展開していきます。

「アメイジングガーデン・浜名湖」では、浜名湖及び静岡県西部地域において、受入体制が整備され、他の庭園や地域との連携を行い、固有の地域資源を活用して“感動”を与える花の公園や日本庭園等を構成庭園に組み入れていきます。

現在は、「浜名湖花フェスタ」のメイン施設及び構成施設の一部（はままつフラワーパーク、浜名湖ガーデンパーク、龍潭寺、浜松城公園）と静岡県西部地域を代表する庭園（松韻亭、天浜線 花のリレー・プロジェクト、小國神社）、それに加えて今回新たに「葛城北の丸」を構成庭園に追加しています。

「アメイジングガーデン・浜名湖」では、単なる花の公園や日本庭園めぐりではなく、浜名湖及び静岡県西部地域の食・グルメや温泉、サイクリングをはじめとしたアクティビティなどを組み合わせた“滞在型の観光地域づくり”として展開していきます。

「アメイジングガーデン・浜名湖」として実施する事業は以下のとおりです。

- ①旅行商品及びモデルルート造成事業
- ②情報発信事業
- ③インバウンド（訪日外国人旅行者）拡大事業
- ④地域におけるおもてなし体制の向上事業（景観整備等含む） ※④はその他、関連事業

（３）協議会の構成員

「浜名湖ガーデンツーリズム推進会議」を運営し、会議内に「浜名湖花フェスタプロジェクト」を包含しております。

浜名湖ガーデンツーリズム推進会議 ※令和7年4月現在

会 長 浜松磐田信用金庫 会長

副 会 長 浜松市、（公財）浜松市花みどり振興財団 理事長、（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

構成庭園 はままつフラワーパーク、浜名湖ガーデンパーク、龍潭寺、浜松城公園・松韻亭、葛城北の丸、小國神社、天浜線 花のリレー・プロジェクト（浜松磐田信用金庫、天竜浜名湖鉄道）

構成庭園以 静岡県、浜松市、湖西市、袋井市、掛川市、森町、舘山寺温泉観光協会、奥浜
外の構成団 名湖観光協会、舞阪町観光協会、湖西・新居観光協会、袋井市観光協会、掛川
体 観光協会、森町観光協会、

事 務 局 （公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

浜名湖ガーデンツーリズム推進会議

アメイジングガーデン浜名湖事業（推進会議メンバー）

浜名湖花フェスタ事業（プロジェクト）



【参考】浜名湖花フェスタプロジェクト

プロジェクトメ
ンバー
事務局

（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、館山寺温泉観光協会、舞阪町観光協会、湖西・新居観光協会、（公財）浜松市花みどり振興財団、浜名湖ガーデンパーク、（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

（４）事業の実施体制

四季を通じた質の高い通年・広域観光である「アメイジングガーデン・浜名湖」は、浜名湖及び静岡県西部地域の一定基準を満たした庭園等で構成する事業として「浜名湖ガーデンツーリズム推進会議」が実施します。

浜名湖花フェスタは、これまでどおり、環浜名湖エリアの“花”の公園等が連携したプロジェクトとして実施します。

浜名湖花フェスタの施設やその他庭園などは、「浜名湖ガーデンツーリズム推進会議」で設定した一定基準をクリアしだい、「アメイジングガーデン・浜名湖」の構成庭園に組み入れていきます。これにより、当地域における花の公園及び庭園のレベルアップにつなげていきます。

（５）具体的な事業

様式 1 - 9 のとおり

具体的な事業一覧表

※各構成庭園が実施する取り組みについては、(様式 1-5) 構成庭園一覧表の「構成庭園の概要」に記載。
 ※以下には、浜名湖ガーデンツーリズム推進会議(事務局：(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー)が実施する事業を記載。

| | | | |
|------|--|------|----------------|
| 事業名① | 旅行商品及びモデルルート造成事業 | | |
| 実施主体 | (公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー | 事業期間 | 平成31年度 ~ 令和8年度 |
| 実施施設 | 「アメイジングガーデン・浜名湖」の構成庭園及び周辺施設 | | |
| 事業概要 | <p>国内外からの観光誘客事業として、「アメイジングガーデン・浜名湖」の構成庭園と食・グルメ、温泉、サイクリングなどのアクティビティを組み合わせた新たな旅行商品やモデルルートを旅行会社等と連携して造成する。</p> <p>造成した旅行商品は、浜松・浜名湖ツーリズムビューローや旅行会社等で販売していく。</p> <p>〔商品/モデルルート例(1泊2日)〕</p> <p>① 浜松駅⇒はままつフラワーパーク※昼食含む(3H)⇒龍潭寺(1H) ⇒宿泊(舘山寺温泉)⇒浜名湖サイクリング(2H)⇒浜名湖遊覧船(1H) ⇒昼食⇒浜松城公園・松韻亭(1.5H)⇒浜松市楽器博物館(1H)⇒浜松駅</p> <p>② 掛川駅⇒天浜線 花のループプロジェクト(車窓見学)⇒昼食⇒加茂荘花鳥園(1.5H) ⇒小國神社(1H)⇒宿泊(葛城北の丸)⇒龍潭寺(1H) ⇒はままつフラワーパーク(2H)⇒昼食⇒浜名湖ガーデンパーク(1.5H)⇒浜松駅</p> | | |
| 事業名② | 情報発信事業 | | |
| 実施主体 | (公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー | 事業期間 | 平成31年度 ~ 令和8年度 |
| 実施施設 | 「アメイジングガーデン・浜名湖」の構成庭園及び周辺施設 | | |
| 事業概要 | <p>国内外の観光誘客に向け、以下の情報発信事業を行う。</p> <p>〔情報発信事業〕</p> <p>①共通ホームページの制作 ②共通リーフレット(3言語対応)の制作 ③SNS(LINE@、Instagram等)の活用 ④フォトコンテストの開催 ⑤構成庭園紹介ムービー制作 など</p> | | |

| | | | |
|------|--|------|--------------|
| 事業名③ | インバウンド（訪日外国人旅行者）拡大事業 | | |
| 実施主体 | （公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー | 事業期間 | 平成31年度～令和8年度 |
| 実施施設 | 「アメイジングガーデン・浜名湖」の構成庭園及び周辺施設 | | |
| 事業概要 | <p>訪日外国人旅行者の誘客に向け、以下の事業を行う。</p> <p>〔インバウンド事業〕</p> <p>①旅行博・商談会出席 旅行商品の造成等に向け、東アジア（中国・台湾）、ASEAN（タイ・ベトナム）、オーストラリア等で開催される旅行博・商談会に参加し、構成庭園の魅力を訴求。</p> <p>②WEBメディア・SNS活用 WEBメディアやSNSを活用し、特にFIT向け情報発信を実施。</p> | | |
| 事業名④ | 【関連事業】地域におけるおもてなし体制の向上事業（景観整備等含む） | | |
| 実施主体 | （公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー | 事業期間 | 平成31年度～令和8年度 |
| 実施施設 | 浜名湖及び静岡県西部地域 | | |
| 事業概要 | <p>「アメイジングガーデン・浜名湖」の関連事業として、国内外からのお客様へのおもてなし力の向上に向け、以下の事業を行う。</p> <p>〔おもてなし力向上事業〕</p> <p>①花と緑の景観整備事業 浜名湖周辺において地域と連携した景観整備事業を推進し、アクティビティやサイクリングを楽しむ方々に、四季折々の花や緑のある風景を提供。</p> <p>②人材育成事業 既存事業と連携し、当地域の花き栽培や園芸技術に関する人材育成事業を実施。人材育成事業では、接客スキルの向上に向けたメニューも実施。</p> | | |

令和7年10月9日

国土交通省都市局長 殿

浜名湖ガーデンツーリズム推進会議
会長 御室 健一郎

庭園間交流連携促進計画の登録申請について（提出）

標記の件について、別紙のとおり提出します。

なお、本件は申請者として挙げた全ての構成員の合意の下に提出するものであることを申し添えます。

| 担当者連絡先 | | | |
|--------|---|-----|--------------|
| 氏名 | 公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 横島 小百合 | | |
| 電話 | 053-458-0011 | FAX | 053-458-0013 |
| E-mail | kikaku@hamacon.net | | |
| 住所 | (〒430-0928) 静岡県浜松市中央区板屋町 596 EAST ITAYA25 1階 | | |